

プレスリリース

古河ネットワークソリューションと Transatel (NTT グループ)、Interop Tokyo 2026 にて Bootstrap eSIM を活用したルーター向け接続ソリューションの実証実験を開始

FITELnet® F225 を用いた Wi-Fi 不要の初期 eSIM アクティベーションを検証

2026 年 6 月 8 日-古河電気グループの古河ネットワークソリューション株式会社（本社：神奈川県平塚市、以下「FNSC」）と NTT グループの Transatel（本社：フランス・パリ、以下「Transatel」）は、本日、Bootstrap eSIM を活用したルーター向け接続ソリューションに関する実証実験を開始したことを発表しました。

本実証実験では、古河電気工業株式会社（以下「古河電気」）が提供するネットワーク機器と、Transatel の Bootstrap eSIM および NTT ドコモ/KDDI 対応マルチキャリア接続を組み合わせ、日本国内で利用されるルーター機器において、通信開通前の初期接続および eSIM プロファイル配信の有効性を検証します。

提携の背景

近年、企業ネットワークや IoT 機器の導入拡大に伴い、ルーター設置時の初期設定や回線開通作業の効率化が求められています。

特に eSIM 対応ルーターでは、実運用用 eSIM プロファイルをダウンロードするための通信手段が必要となる一方、設置現場では Wi-Fi や有線ネットワークが未整備であるケースも多く、初回通信の確立が課題となっていました。

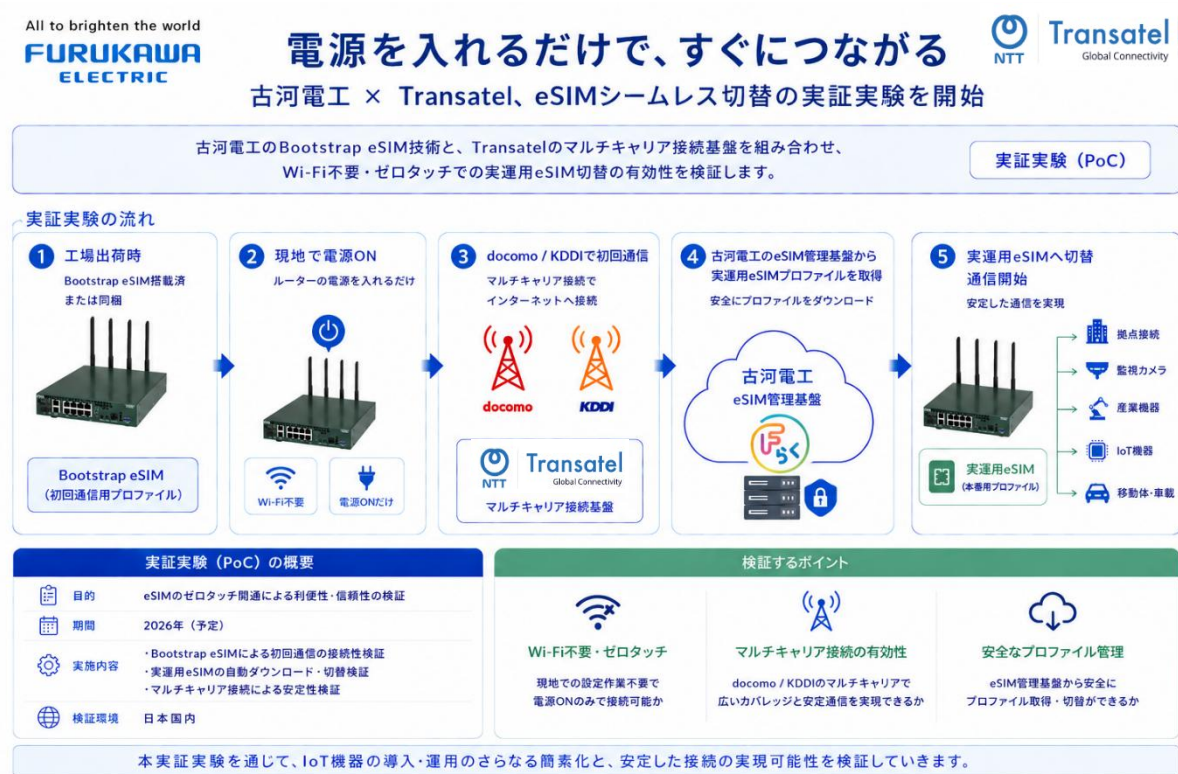
Bootstrap eSIM は、機器起動時に一時的な通信接続を提供し、その通信経由で実運用用 eSIM プロファイルをダウンロード・適用する技術です。

これにより、現地で別途 Wi-Fi 接続や手動設定を行うことなく、通信開通から実運用プロファイル適用までを遠隔で実施でき、ルーター導入時の作業負荷を削減します。

実証実験の概要

本実証実験では、古河電工のルーター製品「FITELnet® Fシリーズ」のうち、「FITELnet® F225」を用い、TransatelのBootstrap SIM/eSIM技術を活用した接続方式を検証します。

FITELnet® F225は、5G/LTE通信に対応した法人向けアクセスルーターです。コンパクトな筐体でありながら、拠点接続やバックアップ回線用途など幅広いネットワーク利用を想定しており、国内での柔軟なネットワーク構築を支援します。



Bootstrap eSIM による初期接続から実運用回線切替までの流れ

実証実験では、以下の流れでルーターの初期接続から実運用回線への切替を検証します。

1. FITELnet® F225 に、Transatel の Bootstrap eSIM をあらかじめ搭載します。

2. ルーターを設置場所で起動すると、Bootstrap eSIM が docomo/KDDI マルチキャリア接続を利用して初回通信を確立します。
3. その通信を利用して、古河電工が提供する eSIM 管理基盤を通じ、実運用で利用する eSIM プロファイルを遠隔からダウンロードします。
4. ダウンロード完了後、Bootstrap eSIM から実運用 eSIM プロファイルへ切り替えます。
5. 以降は、実運用回線を用いてルーター通信を継続します。

これにより、設置現場に Wi-Fi や有線回線がない場合でも、ルーター起動後に必要な通信を確保し、eSIM プロファイルのダウンロードと開通作業を遠隔で実施できます。

Transatel は、日本国内において NTT ドコモ/KDDI に対応したマルチキャリア接続を提供しており、遠隔地や仮設環境など、単一キャリアでは接続が不安定になり得る場所でも、安定した初回通信を支援します。

本実証実験を通じ、現地での物理 SIM 差し替え、APN 設定、Wi-Fi/有線接続準備などの作業削減や、ルーター導入時のゼロタッチ展開の実現可能性を検証します。

Interop Tokyo 2026 での展示について

FNSC と Transatel は、2026 年 6 月 10 日から 12 日まで開催される Interop Tokyo2026 において、古河電工ブース（5P04）内で本実証実験の展示を予定しています。

会場では、FITELnet® F225 を用いたデモンストレーションを実施し、Bootstrap 通信による初期接続確立から、実運用 eSIM プロファイルへの切替までの一連の動作を紹介いたします。

本デモでは、機器起動後に Bootstrap 通信を利用して eSIM プロファイルをダウンロードし、実運用回線へ切り替えるまでの流れを実機で可視化します。これにより、設置現場に Wi-Fi や有線回線がない環境でも、通信開通と eSIM 切替を遠隔で実施できるユースケースを紹介いたします。

コメント

FNSC

「当社は、国内開発・国内サポートによる高品質なネットワーク製品を通じて、お客様の通信インフラの高度化に取り組んでまいりました。今回、Transatel との実証実験により、ルーター導入時の初期接続という現場課題に対し、Bootstrap eSIM を活用した新たな方式を検証します。FITELnet® F225 の eSIM 対応にあわせ、本実証はその実用化に向けた重要なステップと位置付けています。これにより、Wi-Fi や有線環境がない場合でも、遠隔で設定を完結できる導入モデルの実現を目指します。当社は今後も、FITELnet® F225 をはじめとするネットワーク製品の価値を高め、国内のお客様にとって使いやすく、導入しやすいソリューションの提供を推進してまいります。

古河ネットワークソリューション株式会社
代表取締役社長
中村 眞

Transatel

「FNCS との協業を通じ、日本市場における Bootstrap SIM 技術の活用拡大を推進できることを大変嬉しく思います。Transatel の強みである NTT ドコモおよび KDDI 対応のマルチキャリア接続を活用し、遠隔地や一時利用環境においても安定した接続性を提供することで、eSIM 導入時の初期接続課題の解決に貢献してまいります。」

Transatel (NTT グループ会社)
CEO/ 共同創業者
Jacques Bonifay

古河ネットワークソリューション株式会社について

古河ネットワークソリューション株式会社は、ネットワークルータービジネスを担う企業として、古河電工のネットワーク事業部が分社化し、2005年4月に誕生しました。1980年代後半からネットワーク機器を開発・製品化し、国産ルーターメーカーのパイオニアとして活動し続けてきた古河電工の技術力と信頼性をさらに進化させ、探究心・独創的な発想でお客様の課題を解決する製品・サービスを提供して参ります。

Transatel について

Transatel (NTT グループ) は、グローバル向けモバイル通信ソリューションを提供する MVNO/MVNE 事業者です。M2M および IoT コネクティビティ分野のパイオニア

として、先進的なコネクティビティ管理プラットフォームを通じ、グローバルIoT導入の簡素化を支援しています。世界中のモバイルキャリアとのパートナーシップを通じ、LTE-M、3G、4G、5G ネットワークへの接続を提供しています。Transatelの(e)SIM技術は、自動車、産業機器、コンシューマーデバイスなど数百万台規模の機器を、公衆網およびプライベートセルラーネットワークへ安全に接続しています。

また、Airbus、BMW Group、Worldline、Air France、Toyotaなどのグローバル企業への導入実績を有しています。さらに、「Ubigi」ブランドを通じ、海外渡航者やリモートワーカー向けにグローバルモバイルデータ通信サービスも提供しています。

『FITELnet』は古河電気工業株式会社の日本における登録商標です。

本件に関するお問い合わせ先

古河電気工業株式会社
光ソリューション領域 ブロードバンド・ネットワーク事業部門
営業部 ネットワーク営業課

[ご購入前のお問い合わせはこちら](#)

[ご購入後のお問い合わせはこちら](#)

Transatel

Head of Communications

Sébastien JEGOU

E-mail: communication@transatel.com